

## 北海道英語教育学会第4回研究大会

日時：2003年10月25日(土)

会場：藤女子大学(北16条キャンパス：新館7階)

### 研究発表

- 1 「研究と教育の融和への模索 外国人日本語話者の母語話者評価を英語授業内に行なってみて」  
河合 靖(北海道大学)
- 2 "A Comparison of University English Education between China and Japan"  
Huang Meihong(聖徳大学大学院生)
- 3 「実用英語技能検定試験とTOEICとの比較・今後における課題」  
山西敏博(苫小牧工業高等専門学校)
- 4 「語彙知識の大きさ・深さとリーディング能力の相関について」  
石塚博規(北海道東海大学)
- 5 「未知語の推測過程における多読の影響」  
谷本恭教(北海道教育大学函館校大学院生)
- 6 「日本人中学生の関係代名詞選択に影響を与える要素について」  
明石和則(北海道教育大学旭川校大学院生)
- 7 「小学校英語活動を再考する～学校カリキュラムの視座を軸にして～」  
成田智志(北海道岩見沢高等養護学校)
- 8 「連携型中高一貫教育における英語科の取り組み・鶴川中学校・鶴川高校の実践報告」  
中村 洋(北海道鶴川高等学校)
- 9 「英語の苦手な生徒に対するアプローチ・ハリーポッターの講読」  
浅見史郎(北海道岩見沢農業高等学校)
- 10 「イディオム定着を図るウォームアップの実践」  
岩田 哲(北海道釧路北陽高等学校)

### 講演

「アクション・リサーチを通しての授業改善」  
佐野 正之(横浜国立大学名誉教授)

司会 石塚博規(北海道東海大学)  
提案者 片桐 徳昭(札幌市立藻岩高等学校)  
木村 嘉宏(札幌市立八軒中学校)  
助言者 佐野正之(横浜国立大学名誉教授)

「OC I における(伝統的文法指導に依らない)有機的コミュニケーション活動の指導実践」

(片桐 徳昭)

平成6年より始まったオーラル・コミュニケーション(OC)はGTMを基礎とする受験英語を第一とする教師には大きな戸惑いとともにOCなる俗称とともに文法教育にすり変えられることが多くあった。しかし本当に「英語が使える日本人の育成」のためにはOCで何を実践すべきなのか。さらに、大学入試にも耐えうる英語力を身に付けさせるには何が必要なのか。本校1学年で今年度新しく始めたDVDを用いた授業、プレゼンテーション指導の途中経過を発表することによりOCの新たな可能性を考える。

「指導と評価の一体化を大切にした実践の展開」

(木村 嘉宏)

「実践的コミュニケーション能力」の育成を目指す一貫した理論をもった学習指導要領に基づき、その実践の定着を毅然として促す力をもった評価体系(目標に準拠した評価の導入)が確立され、その効果が今、現場に求められている。評価規準を授業に生かすことは目標と指導と評価の一体化により、指導の結果責任を果たすことに関連する。そこで、具体的な実践的コミュニケーション活動、その評価方法を生徒の実態を交えて発表し、授業改善に進めていきたい。

#### 第6回 英語教育論文発表会(北海道英語教育学会第8回例会)

日時 2004年2月15日(日)

会場 藤女子大学 北16条キャンパス

会場1 司会 竹内 典彦(北海道情報大学)

1. 岡部博一(北海道教育大学岩見沢校)「二種類の intervention 活動における語彙の awareness と保持に関する研究」
2. 千葉宣之(北海道教育大学函館校)「不定詞の効果的な指導法の考察」
3. 松本光司(小樽商科大学・商学部・商学科)“English in Japan Past, Present, and Future ”

会場2 司会 鈴木 智己(旭川工業高等専門学校)

1. 伊藤 光(北海道教育大学函館校)「英語表現のパラフレーズに関する研究・実践的コミュニケーション能力の育成をめざして」
2. 島田愛子(藤女子大学・文学部・英文学科)“Educational Differences between Japan and the United States: A Comparison of Educational Premises and Educational Aims from the Perspective of Individuality, Identity and Equality ”
3. 柳谷真悠子(北海道教育大学岩見沢校)「第2言語学習者のタスク活動の条件に関する研究 Pre-task Planning と Time Pressure の効果」

#### 第二部 大学院生論文発表

会場1 司会 竹内 典彦(北海道情報大学)

1. 谷本恭教(北海道教育大学大学院函館校)「効果的な多読指導のための実践的アプローチ『多読が TOEIC Bridge のスコアに与える影響』」
2. 明石和則(北海道教育大学大学院旭川校)「日本人中学生の関係代名詞選択の要因」
3. 風間理恵子(北海道教育大学大学院札幌・岩見沢校)“ Investigating Reformulation as Feedback in the Writing Process ”

会場2 司会 鈴木 智己(旭川工業高等専門学校)

1. 久島智津子(北海道大学大学院・国際広報メディア研究科)「日本人大学生の英語語彙習得の研究・高等学校教科書の高頻度語が与える影響」
2. 上杉利光(札幌市立向陵中学校)“ An Empirical Study of the Lexical Approach A Case of Verb-Noun Collocation ”
3. 三上 全(伊達市立伊達中学校)「英語の発音に対する教師と学習者の意識の違い」